

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人愛生会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目 3 7 番地

(3) 設立認可年月日 昭和 2 6 年 4 月 1 日

(4) 設立登記年月日 昭和 2 6 年 4 月 1 2 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	山 口 洋 介	
理 事	良 田 洋 昇	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院病院長
同	水 野 正 昇	社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院病院長
同	三 浦 直 人	社会医療法人愛生会上飯田クリニック 診療所所長
同	片 岡 祐 司	
同	河 邊 由 憲	
同	石 黒 絵 美	
同	丹 羽 俊 文	
同	鈴 木 卓	
同	脇 田 英 利	
同	黒 田 典 子	
同	宇 都 木 寧	
同	前 田 健 博	
同	堀 尾 雅 広	
同	稲 葉 明 穂	
同	八 木 寿 恵 一	
監 事	加 藤 民 樹	
同	磯 部 晴 夫	

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード（注4）又は介護事業番号	開設場所	許可病床数
病院	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院	2310300054	名古屋市北区上飯田北町 2丁目70番地	一般病床 236床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
病院	社会医療法人愛生会 上飯田リハビリテーション病院	2310301912	名古屋市北区上飯田北町 3丁目57番地	一般病床 床 療養病床 98床 [医療保険 98床] [介護保険 床]
診療所	社会医療法人愛生会 上飯田クリニック	2310302027	名古屋市北区上飯田北町 1丁目76番地	一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
愛生会看護専門学校	名古屋市北区五反田町110番地1	
愛生訪問看護ステーション	名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地	
愛生訪問看護ステーション平安通	名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地	
愛生居宅介護支援事業所	名古屋市北区上飯田通2丁目37番地 CKビル1階	
あいせいケアステーション	名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地	
愛生複合型サービスセンター平安通	名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地	
こもれびの家平安通	名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地	
愛生複合型サービスセンター辻本通	名古屋市北区辻本通2丁目38番地	

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
有料生活援助サービス事業	あいせいケアステーション	

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和5年6月28日	第72期決算の決定、利益金処分案並びに正味資産財産設定の件
〃	役員改選の件
〃	役員定年に伴う退職慰労金支給の件
令和5年7月28日	役員選任の件
〃	社員選任の件
令和5年8月30日	理事選任の件
〃	定款変更の件
令和6年3月27日	第74期事業計画案、並びに損益予算案の承認の件
〃	第74期資金繰り収支予算案、並びに借入最高限度額の承認の件
〃	上飯田リハビリテーション病院病院長（理事）選任の件

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

なし

(9) その他

なし

## 様式第一号

法人名 社会医療法人 愛生会

所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人整理番号 00002

## 貸 借 対 照 表

(令和 6年 3月 31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	3,336,644	I 流動負債	2,169,356
現金及び預金	1,670,477	買掛金	584,401
事業未収金	1,542,763	短期借入金	323,200
貸倒引当金	△ 2,006	1年以内返済予定長期借入金	368,445
たな卸資産	97,273	未払金	430,623
前払費用	25,199	1年以内返済予定長期リース債務	198,000
その他の流動資産	2,937	未払法人税等	71
		未払消費税等	8,406
II 固定資産	4,559,784	前受金	1,220
1 有形固定資産	4,117,345	預り敷金	4,000
建物	2,275,034	預り金	37,533
構築物	11,813	賞与引当金	213,456
医療用器械備品	83,241		
その他の器械備品	55,989	II 固定負債	3,395,415
車両	320	長期借入金	2,678,089
有形リース資産	420,135	退職給付引当金	129,517
土地	1,216,812	長期リース債務	587,809
建設仮勘定	54,000		
2 無形固定資産	142,168	負債合計	5,564,771
ソフトウェア	13,070	純資産の部	
無形リース資産	127,357	科 目	金 額
その他の無形固定資産	1,741	I 積立金	2,332,079
3 その他の資産	300,272	1 設立等積立金	220,930
有価証券	5,423	2 繰越利益積立金	2,111,150
長期貸付金	124,160	II 評価・換算差額等	△ 422
貸倒引当金	△ 62,240	その他有価証券評価差額金	△ 422
長期前払費用	10,146		
保証金	221,964	純資産合計	2,331,657
その他の固定資産	820	負債・純資産合計	7,896,428
資産合計	7,896,428		

様式第二号

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人整理番号 00002

損 益 計 算 書  
(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		9,081,436
2 事業費用		
(1) 事業費	8,445,440	
(2) 本部費	301,015	8,746,455
本来業務事業利益		334,981
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		637,858
2 事業費用		665,978
附帯業務事業損失		28,120
事業利益		306,861
II 事業外収益		
受取利息	8	8
III 事業外費用		
支払利息	38,217	38,217
経常利益		268,652
IV 特別利益		
その他の特別利益	1,323	1,323
V 特別損失		
固定資産除却損	803	
その他の特別損失	3,423	4,226
税引前当期純利益		265,750
法人税・住民税及び事業税	71	71
当期純利益		265,679

様式第三号

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人整理番号 00002

財 産 目 録  
(令和 6年 3月 31日現在)

1. 資 産 額 7,896,428 千円  
2. 負 債 額 5,564,771 千円  
3. 純 資 産 額 2,331,657 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		3,336,644
B 固 定 資 産		4,559,784
C 資 産 合 計 (A + B)		7,896,428
D 負 債 合 計		5,564,771
E 純 資 産 (C - D)		2,331,657

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。  
土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))  
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人監理番号 0 0 0 0 2

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

## 監事監査報告書

社会医療法人 愛生会

理事長 山口 洋介 殿

私たちは、社会医療法人愛生会の2023会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 監査方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

### 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

2024年6月10日

社会医療法人 愛生会

監事

加藤 民彦

監事

磯部 晴夫



## 様式第五号

法人名 社会医療法人 愛生会

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

## 有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	3,934,822	1,188	0	3,936,010	2,126,879	92,110	1,809,131
	建物付属設備	3,550,328	11,399	525	3,561,202	3,095,299	73,755	465,903
	構築物	196,688	0	0	196,688	184,875	2,382	11,813
	医療用器械備品	514,113	47,172	29,307	531,978	448,737	41,285	83,241
	その他の器械備品	340,143	31,346	31,999	339,490	283,501	25,890	55,989
	車両	23,293	0	0	23,293	22,973	579	320
	有形リース資産	1,214,705	159,530	419,959	954,276	534,141	188,548	420,135
	土地	1,216,812	0	0	1,216,812	0	0	1,216,812
	建設仮勘定	54,000	0	0	54,000	0	0	54,000
	計	11,044,905	250,635	481,790	10,813,750	6,696,405	424,549	4,117,345
無形 固定 資産	ソフトウェア	69,329	105	0	69,433	56,363	7,153	13,070
	無形リース資産	275,115	9,866	71,066	213,916	86,558	53,054	127,357
	その他の無形固定資産	8,754	990	0	9,744	8,003	588	1,741
	計	353,198	10,961	71,066	293,093	150,925	60,794	142,168
そ の 他 の 資 産	有価証券	4,719	703	0	5,423	0	0	5,423
	長期貸付金	135,880	39,640	51,360	124,160	0	0	124,160
	貸倒引当金	△ 91,960	△ 12,960	△ 42,680	△ 62,240	0	0	△ 62,240
	長期前払費用	10,492	3,575	3,921	10,146	0	0	10,146
	保証金	224,881	43	2,960	221,964	0	0	221,964
	その他固定資産	2,766	960	2,906	820	0	0	820
	計	286,777	31,961	18,467	300,272	0	0	300,272

## 様式第六号

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

## 引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
医業貸倒引当金	4,161	1,918		4,161	1,918
医業外貸倒引当金	206	88		206	88
長期貸付貸倒引当金	91,960	12,960	42,680		62,240
賞与引当金	211,683	213,456	211,683		213,456
退職給付引当金	162,340		15,101	17,721	129,517

- ・ 医業貸倒引当金の当期減少額(その他)理由  
前年度引当金を戻入れし当該年度引当金を計上したため
- ・ 医業外貸倒引当金の当期減少額(その他)理由  
前年度引当金を戻入れし当該年度引当金を計上したため
- ・ 退職給付引当金の当期減少額(その他)理由  
当期要支給額減少に伴い引当金を戻し入れしたため

## 様式第七号

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

## 借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	284,320	323,200	0.765	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	348,097	368,445	1.027	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	3,046,534	2,678,089	1.027	R24.11.30
リース債務	875,599	785,809	6.384	R19.11.30
合 計	4,554,550	4,155,543	—	—

## 返済予定額 (千円)

2年目	349,948
3年目	333,001
4年目	312,060
5年目	274,684

## 様式第八号

法人名 社会医療法人 愛生会

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

## 有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
計		

省略

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	目 数 等	貸借対照表価額 (千円)
計		

## 様式第九の一号

法人名 社会医療法人 愛生会

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

## 事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	1,744,486	55	1,744,541	19,908	0	1,764,449
給与費	4,839,249	184,937	5,024,187	495,087	0	5,519,273
委託費	452,068	39,691	491,759	16,000	0	507,759
経費	1,371,444	72,642	1,444,085	134,741	0	1,578,826
売上原価	0	0	0	0	0	0
その他の事業費用	38,193	3,690	41,882	242	0	42,125
計	8,445,440	301,015	8,746,455	665,978	0	9,412,433

## 様式九の二号

法人名 社会医療法人 愛生会

※医療法人整理番号 0 0 0 0 2

所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

事業費用明細表  
(自 令和 5年4月1日 至 令和 6年3月31日)

(単位: 千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
医薬品費	910,202	
診療材料費	713,399	
医療消耗器具備品費	19,291	
給食用材料費	121,558	1,764,449
II 給与費		
給料	4,137,932	
賞与	467,021	
賞与引当金繰入額	213,456	
退職金	49,306	
退職給付費用	△ 17,721	
法定福利費	669,280	5,519,273
III 委託費		
委託費	507,759	507,759
IV 経費		
減価償却費	477,603	
器機賃借料	129,189	
地代家賃	88,726	
修繕費	69,192	
固定資産税等	19,089	
器機保守料	168,314	
器機設備保険料	2,676	
車両関係費	10,326	
研究費	7,024	
研修費	13,934	
福利厚生費	152,450	
旅費交通費	3,134	
職員被服費	20,473	
通信費	24,466	
広告宣伝費	5,671	
消耗品費	74,334	
会議費	42	
水道光熱費	191,925	
保険料	14,555	
交際費	2,583	
諸会費	6,254	
租税公課	30,115	
医業貸倒損失	1,652	
医業貸倒引当金繰入額	△ 2,243	
寄付金	5,860	
人材紹介手数料	27,490	
雑費	27,921	
その他の経費	6,072	1,578,826
VI その他の事業費用		
医業外費用	42,125	42,125
事業費用計		9,412,433

様式第四号

※医療法人整理番号 000002

法人名 社会医療法人 愛生会  
所在地 名古屋市北区上飯田通二丁目37番地

純 資 産 変 動 計 算 書  
(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日)

(単位:千円)

	基金 (又は出資金)	積立金					評 価 ・ 換 算 差 額 等		
		設立等積立金	退職積立金	別途積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計
令和 5年4月1日 残高	0	220,930	0	0	1,845,471	2,066,401	△ 1,115	△ 1,115	2,065,285
会計年度中の変動額									
積立金取崩									
当期純利益					265,679	265,679			265,679
有価証券評価差額金							693	693	693
会計年度中の変動額合計	0	0	0	0	265,679	265,679	693	693	266,372
令和 6年3月31日 残高	0	220,930	0	0	2,111,150	2,332,079	△ 422	△ 422	2,331,657

# 独立監査人の監査報告書

令和6年5月31日

社会医療法人愛生会

理事会 御中

有限責任監査法人トーマツ  
名古屋事務所

指定有限責任社員 公認会計士 額 額 和 雅  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人愛生会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。



計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上